

救急搬送実施基準（平成28年10月施行）の一部を次のように改正する。

改正後				
第1号 分類基準（略）				
2 脳卒中疑い （平成29年5月1日現在）				
医療機関名	受入体制	備 考	医療機関名	受入体制
イムス明理会仙台総合病院	◎	血栓回収術可	大泉記念病院	△※
仙台医療センター	◎※	血栓回収術可	公立刈田総合病院	△
仙台東脳神経外科病院	◎※	血栓回収術可	J R仙台病院	△
広南病院	◎※	血栓回収術可	東北労災病院	△※
大崎市民病院	◎※	血栓回収術可	内科佐藤病院	△※
みやぎ県南中核病院	○※		仙台赤十字病院	△
総合南東北病院	○※		松田病院	△
東北大学病院	○※	血栓回収術可	赤石病院	△※
仙台市立病院	○※	血栓回収術可	仙塩総合病院	△
気仙沼市立病院	○※		松島病院	△
宮城病院	●※		公立黒川病院	△
仙台徳洲会病院	●※		古川星陵病院	△
石巻赤十字病院	●※		大崎市民病院鳴子温泉分院	△
仙石病院	●※		すずき脳神経外科クリニック	△
片倉病院	□		涌谷町国民健康保険病院	△
東北公済病院	■		登米市立登米市民病院	△※
東北医科薬科大学病院	■※		登米市立豊里病院	△※
中嶋病院	■		登米市立米谷病院	△
仙台中江病院	■		真壁病院	△
泉病院	■		南三陸病院	△
坂総合病院	■※			
齋藤病院	■			

※ 照会4回以上または現場滞在時間30分以上の事案については、可能な限り受け入れる。

受入体制は以下の区分による。

区分	t-PA投与	緊急開頭手術	緊急血管内手術
◎	常時可	常時可	常時可
○	常時可	常時可	可能な場合有
●	常時可	常時可	不可
□	可能な場合有	可能な場合有	不可
■	可能な場合有	不可	不可
△	t-PA投与以外の薬物療法可能		

改正前			
第1号 分類基準（略）			
2 脳卒中疑い			
医療機関名	受入体制	医療機関名	受入体制
仙台医療センター	◎	東北労災病院	△
仙台東脳神経外科病院	◎	J R仙台病院	△
広南病院	◎	内科佐藤病院	△
大崎市民病院	◎	仙台赤十字病院	△
みやぎ県南中核病院	○	松田病院	△
東北大学病院	○	仙塩総合病院	△
気仙沼市立病院	○	赤石病院	△
総合南東北病院	○	公立黒川病院	△
宮城病院	●	大崎市民病院鳴子温泉分院	△
仙台市立病院	●	古川星陵病院	△
仙台徳洲会病院	●	すずき脳神経外科クリニック	△
石巻赤十字病院	●	涌谷町国民健康保険病院	△
仙石病院	●	登米市立登米市民病院	△
公立刈田総合病院	△	登米市立米谷病院	△
片倉病院	□	登米市立豊里病院	△
坂総合病院	■	齋藤病院	■
泉病院	■	真壁病院	△
東北公済病院	■	大友病院	△
宮城県立こども病院	■	南三陸病院	△
東北医科薬科大学病院	■		
仙台中江病院	■		
中嶋病院	■		

受入体制は以下の区分による。

区分	t-PA投与	緊急開頭手術	緊急血管内手術
◎	常時可	常時可	常時可
○	常時可	常時可	可能な場合有
●	常時可	常時可	不可
□	可能な場合有	可能な場合有	不可
■	可能な場合有	不可	不可
△	t-PA投与以外の薬物療法可能		

3 心疾患疑い

傷病者の状況	医療機関名	心臓血管外科の有無
心筋梗塞及びその類似疾患【※1】 (胸痛を訴え循環器系疾患が疑われる傷病者)	東北大学病院	○
	仙台厚生病院	○
	仙台オープン病院	○
	仙台市立病院	○
	仙台循環器病センター	○
	東北医科薬科大学病院	○
	仙台医療センター	○
	仙台徳洲会病院	○
	東北労災病院	—
	JCHO仙台病院	—
	仙台南病院【※2】	—
	吉岡QQクリニック【※2】	—
	坂総合病院	○
	みやぎ東部循環器科	—
	みやぎ県南中核病院	—
	みやぎ北部循環器科	—
	大崎市民病院	○
	石巻赤十字病院	○
	宮城県立循環器・呼吸器病センター	○
	真壁病院【※2】	○
気仙沼市立病院	—	

※1 類似疾患とは急性大動脈解離や肺塞栓症等の循環器系の緊急性が高い疾患を指す。

※2 診療時間外は曜日及び時間帯によって対応不可能な場合がある。

4 重症熱傷から7整形外科的外傷(2)救急告示医療機関等まで(略)

3 心疾患疑い

傷病者の状況	医療機関名	心臓血管外科の有無
心筋梗塞及びその類似疾患【※1】 (胸痛を訴え循環器系疾患が疑われる傷病者)	みやぎ県南中核病院	—
	東北大学病院	○
	仙台厚生病院	○
	仙台オープン病院	○
	仙台市立病院	○
	仙台循環器病センター	○
	東北医科薬科大学病院	○
	仙台医療センター	○
	仙台徳洲会病院	○
	東北労災病院	—
	JCHO仙台病院	—
	吉岡QQクリニック【※2】	—
	坂総合病院	○
	大崎市民病院	○
	みやぎ北部循環器科	—
	宮城県立循環器・呼吸器病センター	○
	石巻赤十字病院	○
	みやぎ東部循環器科	—
	気仙沼市立病院	—
	仙台南病院【※2】	—
真壁病院【※2】	○	

※1 類似疾患とは急性大動脈解離や肺塞栓症等の循環器系の緊急性が高い疾患を指す。

※2 診療時間外は曜日及び時間帯によって対応不可能な場合がある。

4 重症熱傷から7整形外科的外傷(2)救急告示医療機関等まで(略)

(1) 救急告示医療機関 (平成29年12月1日現在)

医療圏	医療機関名	
仙台	東北大学病院	泉病院
	仙台厚生病院	松田病院
	伊藤病院	仙台徳洲会病院
	東北労災病院	仙台循環器病センター
	JCHO仙台病院	泉整形外科病院
	東北公済病院	仙台北部整形外科
	仙台医療センター	坂総合病院
	安田病院	塩竈市立病院
	仙台オープン病院	赤石病院
	中嶋病院	平田外科医院
	仙台東脳神経外科病院	宮城病院
	東北医科薬科大学病院	公立黒川病院
	仙台市立病院	宮城利府掖済会病院
	東北医科薬科大学若林病院	仙塩利府病院
	仙台赤十字病院	総合南東北病院
	広南病院	松島病院
	JCHO仙台南病院	光ヶ丘スペルマン病院
	JR仙台病院	河原町病院
	イムス明理会仙台総合病院	
	仙南	公立刈田総合病院
蔵王町国民健康保険蔵王病院		丸森町国民健康保険丸森病院
大泉記念病院		登米整形外科. 外科医院
みやぎ県南中核病院		金上病院
大崎・栗原	大崎市民病院	東泉堂病院
	徳永整形外科病院	美里町立南郷病院
	大崎市民病院鹿島台分院	公立加美病院
	古川民主病院	大崎市民病院鳴子温泉分院
	古川星陵病院	大崎市民病院岩出山分院
	涌谷町国民健康保険病院	みやぎ北部循環器科

(1) 救急告示医療機関 (平成28年9月1日現在)

医療圏	医療機関名		
仙台	東北大学病院	泉病院	
	仙台厚生病院	松田病院	
	伊藤病院	仙台徳洲会病院	
	東北労災病院	仙台循環器病センター	
	仙台病院	泉整形外科病院	
	東北公済病院	仙台北部整形外科	
	仙台医療センター	坂総合病院	
	安田病院	塩竈市立病院	
	仙台オープン病院	赤石病院	
	中嶋病院	平田外科医院	
	仙台東脳神経外科病院	宮城病院	
	東北医科薬科大学病院	公立黒川病院	
	仙台市立病院	宮城利府掖済会病院	
	東北医科薬科大学若林病院	仙塩利府病院	
	仙台赤十字病院	総合南東北病院	
	広南病院	松島病院	
	仙台南病院	光ヶ丘スペルマン病院	
	JR仙台病院	河原町病院	
	仙南	公立刈田総合病院	国民健康保険川崎病院
		蔵王町国民健康保険蔵王病院	丸森町国民健康保険丸森病院
大泉記念病院		登米整形外科. 外科医院	
みやぎ県南中核病院			
大崎・栗原	大崎市民病院	東泉堂病院	
	徳永整形外科病院	美里町立南郷病院	
	大崎市民病院鹿島台分院	公立加美病院	
	古川民主病院	大崎市民病院鳴子温泉分院	
	古川星陵病院	大崎市民病院岩出山分院	
	涌谷町国民健康保険病院	みやぎ北部循環器科	

医療圏	医療機関名	
大崎・ 栗原	栗原市立若柳病院	栗原市立栗原中央病院
	栗原市立栗駒病院	宮城県立循環器・呼吸器病センター
石巻・ 登米・ 気仙沼	登米市立登米市民病院	登米市立豊里病院
	登米市立米谷病院	石巻市立病院
	石巻赤十字病院	真壁病院
	女川町地域医療センター	齋藤病院
	石巻市立牡鹿病院	仙石病院
	気仙沼市立病院	猪苗代病院
	南三陸病院	

医療圏	医療機関名	
大崎・ 栗原	栗原市立若柳病院	栗原市立栗原中央病院
	栗原市立栗駒病院	県立循環器・呼吸器病センター
石巻・ 登米・ 気仙沼	登米市立登米市民病院	登米市立豊里病院
	登米市立米谷病院	石巻市立病院
	石巻赤十字病院	真壁病院
	女川町地域医療センター	齋藤病院
	石巻市立牡鹿病院	仙石病院
	気仙沼市立病院	猪苗代病院
	南三陸病院	

(2) 病院群輪番制参加医療機関 (平成29年12月1日現在)

地域		参加施設
岩沼／名取／亶理		総合南東北病院
仙台	当番病院	仙台オープン病院
		仙台徳洲会病院
		伊藤病院
		中嶋病院
		仙台赤十字病院
		東北労災病院
		JCHO仙台病院
		JR仙台病院
		東北公済病院
		協力病院
	佐藤病院	
	イムス明理会仙台総合病院	
	仙台東脳神経外科病院	
	広南病院	
	JCHO仙台南病院	
	泉整形外科病院	
	仙台循環器病センター	
	松田病院	
	公益財団法人宮城厚生協会 泉病院	
	仙南	公立刈田総合病院
みやぎ県南中核病院		
塩釜	塩竈市立病院	
	宮城利府掖済会病院	
	仙塩総合病院	
	坂総合病院	
	赤石病院	
	松島病院	
	仙塩利府病院	

(2) 病院群輪番制参加医療機関

地域		参加施設
仙南		公立刈田総合病院
		みやぎ県南中核病院
岩沼／名取／亶理		総合南東北病院
仙台	当番病院	仙台オープン病院
		仙台徳洲会病院
		伊藤病院
		中嶋病院
		仙台赤十字病院
		東北労災病院
		東北医科薬科大学若林病院
		仙台病院
		JR仙台病院
		東北公済病院
	協力病院	仙台厚生病院
		佐藤病院
		イムス明理会仙台総合病院
		仙台東脳神経外科病院
		広南病院
		仙台南病院
		泉整形外科病院
		仙台循環器病センター
		松田病院
		公益財団法人宮城厚生協会 泉病院
塩釜	塩竈市立病院	
	宮城利府掖済会病院	
	仙塩総合病院	
	坂総合病院	
	赤石病院	
	松島病院	
	仙塩利府病院	

地域	参加施設
大崎	大崎市民病院
	大崎市民病院岩出山分院
	美里町立南郷病院
	永仁会病院
	徳永整形外科病院
	大崎市民病院鳴子温泉分院
	片倉病院
	野崎病院
	大崎市民病院鹿島台分院
	公立加美病院
	涌谷町国民健康保険病院
	古川星陵病院
	三浦病院
	佐藤病院
栗原	栗原市立栗原中央病院
登米	登米市立登米市民病院
石巻	石巻赤十字病院
	女川町地域医療センター
	齋藤病院
	仙石病院
	真壁病院
	石巻市立牡鹿病院
石巻市立病院	
気仙沼	気仙沼市立病院
	猪苗代病院
	南三陸病院

地域	参加施設
大崎	大崎市民病院
	大崎市民病院岩出山分院
	美里町立南郷病院
	古川民主病院
	永仁会病院
	徳永整形外科病院
	大崎市民病院鳴子温泉分院
	片倉病院
	野崎病院
	大崎市民病院鹿島台分院
	公立加美病院
	涌谷町国保病院
	古川星陵病院
	三浦病院
佐藤病院	
栗原	栗原市立栗原中央病院
登米	登米市立登米市民病院
石巻	石巻赤十字病院
	女川町地域医療センター
	齋藤病院
	仙石病院
	真壁病院
	石巻市立牡鹿病院
気仙沼市立病院	
気仙沼	猪苗代病院
	南三陸病院

第3号 観察基準

救急隊は、傷病者の状況を以下の項目を基本として総合的な観察をする。

1 生理学的評価

傷病者情報	主訴・発症状況（時間）、現病歴・既往歴、服用薬
バイタルサイン	意識レベル、呼吸、脈拍、体温、血圧
臨床検査所見	心電図、血中酸素飽和度
神経学的所見	瞳孔、麻痺
傷病者の状態	体位、顔貌、表情、出血、痙攣、失禁、四肢変形、創傷、嘔吐・嘔気、死亡兆候

2 重症度・緊急度判断基準に基づく各症状別の観察項目

外傷	外傷	受傷機転、解剖学的評価
	熱傷	熱傷の程度等
疾病	脳疾患	「意識障害」の項における症状等
	心疾患	「胸痛」、「呼吸困難」の項における症状等
	中毒	原因物質
	腹痛	「消化管出血」、「腹痛」の項における症状等
産科・周産期	「周産期」の項における症状等	
小児	「乳幼児」における症状等	

3 脳卒中疑い

・シンシナティ病院前脳卒中スケール（CPSS）による観察を行なう。

・顔面の下垂 歯を見せるように、あるいは笑顔を指示	
正 常	両側が等しく動く
異 常	片側がもう一側のように動かない
・上肢の動揺 目を閉じさせ、10秒間上肢をまっすぐに伸ばすよう指示	
正 常	左右とも同じように挙がる、または左右ともまったく挙がらない
異 常	片側が挙がらないか、もう一方と比べてふらふらと下がる
・言語「瑠璃（るり）も玻璃（はり）も照らせば光る」（例）を繰り返すように指示	
正 常	正しい言葉を明瞭に話す
異 常	不明瞭な言葉、間違った言葉、またはまったく話せない

（出典：Kothari Pancioli A Liu T, Broderick J, Cincinnati Prehospital Stroke Scale: reproducibility and validity. Ann Emerg Med. 1999;33:373-378.）

・最終未発症時刻を聴取する。

4 その他、各地域メディカルコントロール協議会が定める項目

第3号 観察基準

救急隊は、傷病者の状況を以下の項目を基本として総合的な観察をする。

1 生理学的評価

傷病者情報	主訴・発症状況（時間）、現病歴・既往歴、服用薬
バイタルサイン	意識レベル、呼吸、脈拍、体温、血圧
臨床検査所見	心電図、血中酸素飽和度
神経学的所見	瞳孔、麻痺
傷病者の状態	体位、顔貌、表情、出血、痙攣、失禁、四肢変形、創傷、嘔吐・嘔気、死亡兆候

2 重症度・緊急度判断基準に基づく各症状別の観察項目

外傷	外傷	受傷機転、解剖学的評価
	熱傷	熱傷の程度等
疾病	脳疾患	「意識障害」の項における症状等
	心疾患	「胸痛」、「呼吸困難」の項における症状等
	中毒	原因物質
	腹痛	「消化管出血」、「腹痛」の項における症状等
産科・周産期	「周産期」の項における症状等	
小児	「乳幼児」における症状等	

3 その他、各地域メディカルコントロール協議会が定める項目

第4号 選定基準

救急隊は、以下の項目に基づき傷病者の搬送を行おうとする医療機関を選定する。

- 1 第3号に規定する観察項目により判断した傷病者の状況及び重症度・緊急度に応じ、第2号に定める医療機関リストから最も搬送時間が短い医療機関を選定する。
- 2 かかりつけ医療機関の有無や地域における独自の搬送ルールがある場合は、これを考慮する。
また、「その他病態」などにおいて、傷病者が軽症である場合などは上記1によらない医療機関の選定も考慮する。
- 3 高速道路で傷病者が発生し、退出する直近のインターチェンジが県外である場合や住民の生活圏が県外である地域における救急搬送の場合など、県外医療機関への搬送が適当と判断される場合は、県外医療機関への搬送を考慮する。

4 「脳卒中疑い」の場合は、第3号に規定する観察項目及び下記を考慮し医療機関を選定する。

シンシナティ病院前脳卒中スケール（CPSS）による評価を行い、3徴候のうちいずれか1つを満たす場合は脳卒中を疑い、t-PAの適応となる傷病者については、家族をできる限り同乗させ、最終発症時刻よりt-PAによる脳血栓溶解療法が可能な医療機関を選定する。

また、経験したことのない頭痛、発症時間が不明な頭痛のいずれかの場合はくも膜下出血を疑い、第2号医療機関リスト「脳卒中疑い」の中から適切な医療機関を選定する。

第5号 伝達基準

救急隊は、傷病者の搬送を行おうとする医療機関に対し、以下の項目を基本として傷病者の状況を総合的に系統立てて伝達する。

- 1 傷病者の年齢、性別
- 2 第3号「観察基準」に基づく傷病者の状況の観察結果
※脳卒中疑いの場合、シンシナティ病院前脳卒中スケール（CPSS）による観察の異常の有無と最終発症時間を伝達する。
- 3 救急隊が行った処置内容
- 4 かかりつけ医療機関
- 5 その他、各地域メディカルコントロール協議会が定める項目

第4号 選定基準

救急隊は、以下の項目に基づき傷病者の搬送を行おうとする医療機関を選定する。

- 1 第3号に規定する観察項目により判断した傷病者の状況及び重症度・緊急度に応じ、第2号に定める医療機関リストから最も搬送時間が短い医療機関を選定する。
- 2 かかりつけ医療機関の有無や地域における独自の搬送ルールがある場合は、これを考慮する。
また、「その他病態」などにおいて、傷病者が軽症である場合などは上記1によらない医療機関の選定も考慮する。
- 3 高速道路で傷病者が発生し、退出する直近のインターチェンジが県外である場合や住民の生活圏が県外である地域における救急搬送の場合など、県外医療機関への搬送が適当と判断される場合は、県外医療機関への搬送を考慮する。

第5号 伝達基準

救急隊は、傷病者の搬送を行おうとする医療機関に対し、以下の項目を基本として傷病者の状況を総合的に系統立てて伝達する。

- 1 傷病者の年齢、性別
- 2 第3号「観察基準」に基づく傷病者の状況の観察結果
- 3 救急隊が行った処置内容
- 4 かかりつけ医療機関
- 5 その他、各地域メディカルコントロール協議会が定める項目

第6号 受入医療機関確保基準

救急隊は、受入医療機関が速やかに決まらない事案（以下「受入困難事案」という。）が発生した場合は、原則、各地域の救急告示医療機関及び病院群輪番制の当番病院から搬送先の選定に努めるものとする。

しかし、上記に従い傷病者の搬送先を選定しても搬送先が決定せず、「照会4回以上」又は「現場滞在時間30分以上」の搬送事案が発生した場合は、救命救急センターに受入要請を行うものとする。

また、医療機関が受入困難事案を受け入れた場合は、県は受入医療機関に対して受入困難事案受入医療機関支援事業により、その受入実績に応じた支援を行うこととする。

なお、受入困難事案とは、次の①から⑪の状態にある患者をいう。

- ① 飲酒
- ② 急性アルコール中毒
- ③ 背景として精神疾患あり
- ④ 複数科目
- ⑤ 認知症
- ⑥ 過去に問題のある傷病者
- ⑦ 要介護者
- ⑧ 独居・身寄りなし
- ⑨ 自殺企図
- ⑩ 住所不定
- ⑪ 年齢等の要因で長期入院が予測される脳疾患及び骨折

第6号 受入医療機関確保基準

救急隊は、受入医療機関が速やかに決まらない事案（以下「受入困難事案」という。）が発生した場合は、原則、各地域の救急告示医療機関及び病院群輪番制の当番病院から搬送先の選定に努めるものとする。

また、医療機関が受入困難事案を受け入れた場合は、県は受入医療機関に対して受入困難事案患者受入医療機関支援事業により、その受入実績に応じた支援を行うこととする。

なお、受入困難事案とは、次の①から⑪の状態にある患者をいう。

- ① 飲酒
- ② 急性アルコール中毒
- ③ 背景として精神疾患あり
- ④ 複数科目
- ⑤ 認知症
- ⑥ 過去に問題のある傷病者
- ⑦ 要介護者
- ⑧ 独居・身寄りなし
- ⑨ 自殺企図
- ⑩ 住所不定
- ⑪ 年齢等の要因で長期入院が予測される脳疾患及び骨折